



# つるがや たより

第9号

発行日平成22年 6月10日

群馬県伊勢崎市境百々421

医療法人鶴谷会鶴谷病院

広報委員会

## 新理事長挨拶

平成22年4月1日に鶴谷嘉武前理事長の後任として、医療法人鶴谷会の理事長を拝命致しました鶴谷英樹と申します。

鶴谷病院は昭和29年に現在地にて開院以来、地域医療のあり方に真摯に向かい合ってきました。伊勢崎市東部、太田市西部、深谷市の北部を圏域として、地域の皆さまの健康維持と地域医療へのご要望にきめ細かくお応えし、高齢化社会の中で急増する急性期疾患はもとより、慢性期医療についても充実した療養・介護サービスの提供に努めております。地域に根つき、安心して受診できる医療機関を目標に、医療と介護を結ぶ地域医療完結型病院を目指しております。



理事長 鶴谷英樹

2012年には本館南側に3階建ての新南棟が完成し、1階には外来診療科、2階には最新の設備を整えた手術室、3階には急性期病棟が誕生します。これに先立ち、2011年には、2階建ての東棟が完成し、第六病棟が生まれ変わります。2013年には、本館の耐震化工事も完了し、1階のエントランス・受付・薬局から新南棟の外来診療科、また、本館救急処置室・放射線室・血管造影室等が一体となった運用が開始される予定です。

各診療科においては、専門性の深化に努めております。循環器疾患につきましては、平成元年に心臓血管カテーテル検査室を開設し、主に虚血性心疾患を中心に診断・治療を行ってまいりました。ここ数年は循環器専門医を6名以上常勤とし24時間体制で緊急対応を行っております。外科領域におきましても、消化器外科を中心として、外傷などの一般外科、乳腺疾患及び腹部救急疾患の診断と治療を行っております。新南棟には手術室を新築し、更なる診療の拡大を目指します。また、整形外科・脳神経外科・耳鼻咽喉科・眼科・歯科につきましても、今後もさらに専門性を深め、医療体制の高度充実化を図る所存です。



新南棟完成イメージ図(計画中につき完成時とは異なります。)

私たちの使命は「良い医療」を提供することです。そのためには、職員一人一人がやりがいをもって責務を全うできる職場環境が必要です。患者さんを中心として、ご家族、医療従事者が一体となった環境づくりを目指し、地域に根差した医療活動に邁進したいと考えております。

今後ともご指導賜りますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

## 新任医師紹介

### 循環器内科 関口 賢一

このたび平成22年4月から当院にて勤務することになりました関口賢一です。専門は内科で主に循環器疾患の診療に携わっています。伊勢崎地区は以前に当院や伊勢崎佐波医師会病院で勤務しておりましたので大変愛着を持っております。また、この地区は大学や医局の先輩方が数多く活躍されている地域でもあり、そういった方々にご指導いただきながら働けたらと思っています。

前任地の国立循環器病センターでは主に急性心不全の診療に携わってまいりました。急性心不全はいろいろな心臓病が原因となって起きる病気で、呼吸困難やむくみが典型的な症状です。日本における急性心不全の疫学はほとんどありませんが、人口の高齢化とともに急性心不全の発症は年々増えていると考えられています。しかも急性心不全は再発することが多いため、退院後も継続した注意深い治療が必要です。

急性心不全に限らず多くの病気において継続した治療をすることが必要だと思いますが、地域に根ざした継続した医療を提供できるよう努力していきたいと思います。今後とも何とぞよろしくお願い致します。



関口 賢一

## 新看護部長挨拶

平成22年4月1日付で看護部長に就任いたしました保泉里美です。どうぞよろしくお願いいたします。

前任者である関口看護部長が18年間に亘り粉骨砕身され大切にここまで育て上げられた看護部をお引き受けするには非才の身、この大任はことの他重く身の引き締まる思いがいたします。今後は、看護部の発展と地域の皆様に喜んでいただける看護ができるよう、微力ではございますが専心努力する所存です。これからもご協力、ご指導をいただけますようお願い申し上げます。



看護部長 保泉里美

#### 医療法人鶴谷会の理念

- ①人間愛を持って患者さんに接し、心のこもった医療・介護サービスにつくすこと。
  - ②日進月歩する医療・福祉に対して前向きに取り組み、“チームワーク”を大切にすること。
- これらをふまえ、質の高い医療・介護サービスを地域の方々に提供する。